

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	公衆衛生学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期	教室名	
担 当 教 員	山下 富貴子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
地域保健活動を展開する上で、基盤となる公衆衛生の理念、考え方、活動方法について学ぶ。公衆衛生の基本理念、活動方法を理解する。地域の健康問題とその関連要因について理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
小テスト、出席並びに課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向						
《授業外における学習方法》						
《履修に当たっての留意点》						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1.公衆衛生の概念と、それを学ぶ意義について述べるができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公 衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を讀ん でおく	
		各コマに おける 授業予定	公衆衛生とは何か 公衆衛生の歴史背景			
第 2 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1.公衆衛生の展開、その対象について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公 衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を讀ん でおく	
		各コマに おける 授業予定	日本における公衆衛生 戦後の展開(プライマリヘルスケア・ヘルスプロモーション) 公衆衛生の対象			
第 3 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1.公衆衛生のしくみについて述べるができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公 衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を讀ん でおく	
		各コマに おける 授業予定	公衆衛生の対象 公衆衛生のしくみ			
第 4 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1. 公衆衛生における倫理的課題について述べるができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公 衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を讀ん でおく	
		各コマに おける 授業予定	公衆衛生と生命倫理 情報公開 診療情報の提供			
第 5 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1. 公衆衛生における倫理的課題について述べるができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公 衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を讀ん でおく	
		各コマに おける 授業予定	情報公開と生命倫理 診療情報の提供 個人情報の保護と患者のプライバシーの権利			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 健康指標の見方について理解し、データについて説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の技術 疫学と健康指標 新しい健康概念の提案と健康づくりを支援する方法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 地域コミュニティへのアプローチの方法について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の技術 地域コミュニティを対象としたヘルスプロモーション活動		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 地域コミュニティへのアプローチの方法について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の技術 健康づくり計画と実践評価のプロセス		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 社会福祉との関連について説明することができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	日本における社会保障制度および医療制度の改革 日本の社会保障制度および医療制度をめぐる動向		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 日本の医療制度について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	日本における社会保障制度および医療制度の改革 社会保障制度および医療制度の改革		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. グローバル化と国際保健について説明できる。	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グローバル化する世界と公衆衛生 公衆衛生とグローバル化		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 国際保健と国際協力について述べることができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	グローバル化する世界と公衆衛生 国際協力(JICA・海外青年協力隊など) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 地域における保健活動について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	地域保健 地域づくりと地域 地域保健とは		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 地域における保健活動について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	地域保健 地域保健の展開		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 公衆衛生活動の実践現場とその活動概略について述べるができる	系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 医学書院 国民衛生の動向	教科書の該当単元を読んでおく
		各コマにおける授業予定	場面別公衆衛生の実践 ①学校保健②産業保健③災害保険④健康危機管理		